

---

令和5年度（2023年度）活動報告書

---



このたび、令和5年度（2023年度）の熊本県博物館ネットワークセンターの活動報告書を取りまとめましたので、御覧いただければ幸いです。

熊本県博物館ネットワークセンターは、平成27年（2015年）4月の設置以来、県内博物館等との連携を軸として、「いつでも・どこでも・だれでも」博物館活動に親んでもらえるよう、共同企画展の開催、収蔵資料の情報共有を図るための「熊本県博物館資料データベース」の運用・公開など、「熊本県総合博物館ネットワーク構想」の実現に向けて取り組んで参りました。また、企画展・移動展の開催、講座やフィールドミュージアムの実施、ミュージアムパートナーズクラブへの支援など、県民の皆様が熊本の歴史や自然を体感できる取り組みを進めてきました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もほとんどなく、コロナ禍以前と同様の博物館活動を行うことができました。対面での様々な活動と同時に、オンラインでの研修を実施するなど、ICTの活用による幅広い博物館活動の場の提供を、引き続き推進してきました。また、対面で実施している移動体験教室や講師派遣、各種講座等もご要望に応じて、着実に実施してきたところです。

さらに、熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト内に立ち上げた「熊本どこでもミュージアム」では、自宅や野外などどこにいても博物館を身近に感じることができるよう、多くの県内博物館等と連携して、動画を活用した博物館紹介、自宅でできる学習プログラムの紹介などコンテンツの充実に努めてきました。今後もより多くの県民の皆様が博物館活動に参加・体験できる機会をより充実させたいと考えているところです。

今回、博物館ネットワークセンター中期計画として令和6年度以降の4か年計画を新たに策定したところです。県内各地域の博物館施設等と連携を深化しつつ、地域の魅力を活かしながら、県内の博物館活動充実のために今後も魅力的な活動内容を増やしていきたいと考えております。

今後とも、県内博物館の活性化と、県内どこに住んでいても博物館活動に参加・体験できる環境づくりを目指して取り組んでいきたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和6年（2024年）7月18日

熊本県博物館ネットワークセンター

所長 森 英樹

1 展示活動	
(1) 企画展示	1
(2) 通路展示	9
(3) 移動展示	9
(4) 縣市連携展示「熊本のいきものたち」	11
(5) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室	14
2 情報発信活動	
(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト	15
(2) 熊本どこでもミュージアム	15
(3) 出版物	16
3 研修活動	
(1) 総合プロデューサー育成研修	18
(2) スキルアップ研修	19
(3) 教員のための博物館の日 in 御船	20
4 学習支援活動	
(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう!	22
(2) 熊本を知る講座	24
(3) くまもとキッズミュージアム in 人吉	27
(4) 移動体験教室・講師派遣	28
(5) 団体利用	29
(6) 博物館実習・職場体験	29
(7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度	30
(8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ	30
(9) 学校移動展示用パッケージ	32
(10) 図書館・公民館等移動展示用パッケージ	32
(11) 歴史分野授業用パッケージ	32
(12) リレー講演会	33
5 資料収集整理活動	
(1) 熊本県博物館資料データベース事業	34
(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業	34
(3) 資料収集・整理状況	35
6 資料	
(1) 令和5年度(2023年度)職員一覧	39
(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例	40
(3) 施設平面図	43
(4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス	44

# 1 展示活動

## (1) 企画展示

### ① くまもと絵葉書ものがたり

開催期間 令和5年(2023年)5月23日(火)～7月23日(日)

協力 熊本県立図書館、くまもと文学・歴史館、山鹿市教育委員会、  
玉名市教育委員会、菊池市立図書館、天草市立天草アーカイブズ

後援 熊本県教育委員会 宇城市教育委員会

観覧者数 885人

展示点数 262点

担当 後藤鮎子、堤将太、古澤広大



#### (展示趣旨)

明治後期に発行が始まった絵葉書は、イベントや行事等の記念絵葉書、ニュースを伝えた絵葉書、風景を写した名所絵葉書等が発行され、印刷されている図柄や写真からは、当時の社会や文化を読み取ることができる。熊本県内においても絵葉書が発行され、現在では見ることのできない歴史的景観を写したものもあり、熊本県の魅力だけでなく社会の移り変わりを感ぜられる。また、写真が高価であった時代においては、手に入れやすい情報手段の一つであり、当時の人々が大切にしていた出来事や風景が絵葉書からわかる。

本展示では、熊本県に関する絵葉書に使用された題材に着目し、当時の人々が絵葉書として形に残そうとした熊本県の出来事や風景を振り返りながら、明治時代から昭和時代の絵葉書を紹介した。

#### (展示構成と主な展示資料)

##### (ア) 絵葉書になったできごと

熊本の行事の記念や出来事を伝えるために作成された絵葉書や学校に関する絵葉書を紹介し、それらの出来事を説明。

##### (主な展示資料)

「熊本市役所」(陸軍特別大演習記念絵葉書)、「熊本水前寺公園と大阿蘇国立公園」(新興熊本大博覧会絵葉書)、「熊本市三大事業記念国産共進会 全景」(川尻横町終点)(川尻線絵はがき)、「水俣起点 23K100M 附近線路」(水俣線山野薩摩布計開通記念絵葉書)、「碩台尋常小学校改築校舎」(1, 2, 3 年学校体操)(熊本中学校創立 20 周年記念体育演習会)

##### (イ) 絵葉書になった風景

熊本の名所・旧跡などの景観や人々の生活の風景を写した絵葉書や、明治から昭和の熊本の建造物に関する絵葉書を紹介。

##### (主な展示資料)

「阿蘇山新噴火口」(熊本百景)、「近津海岸より有明海を望む」(熊本百景)、「殷盛を極むる新市街の壮観」(熊本百景 史蹟と名勝絵葉書)、「阿蘇神社楼門及び神幸還御両門」(阿蘇神社絵葉書)、「宇土赤瀬温泉の海岸」(熊本百景)、「人吉市中の全景」



## (ウ) さまざまな絵葉書

熊本の偉人や有名人を顕彰するために作成された絵葉書や、熊本に関連するユニークな題材の絵葉書の他、収納袋についても紹介。

### (主な展示資料)

「三賢堂全景」(三賢堂絵葉書)、「谷干城將軍銅像」(谷將軍銅像絵葉書)、「熊本監獄京町出張所男拘置所内部」(熊本監獄京町出張所開片紀年絵葉書)、「おてもやん 東雲楼庭園」、「国立公園 大阿蘇大観絵葉書(袋)」、「熊本名所 肥後名産のデパート専門大店(袋)」、「祝開通花電車 民衆的芸術絵葉書(袋)」

## (エ) 地域の絵葉書

地域に関する絵葉書(山鹿・菊池・玉名・天草)を紹介。

### (主な展示資料)

「倒壊は流着家屋 九番開」(横島村潮害の惨状)、「立願寺錦温泉紅葉館全景」(錦温泉絵葉書)、「山鹿温泉」(熊本百景)、「景行天皇を奉祀せる大宮神社」(景行天皇奉祀 大宮神社絵はがき)、「菊池神社」、「紅葉ヶ瀬」(阿蘇国立公園内唯一の溪谷美 深葉山菊池川水源)、「富岡 鎮道寺」(天草富岡名所)、「富岡古城跡及金比羅山」(肥後天草)

## 関連企画

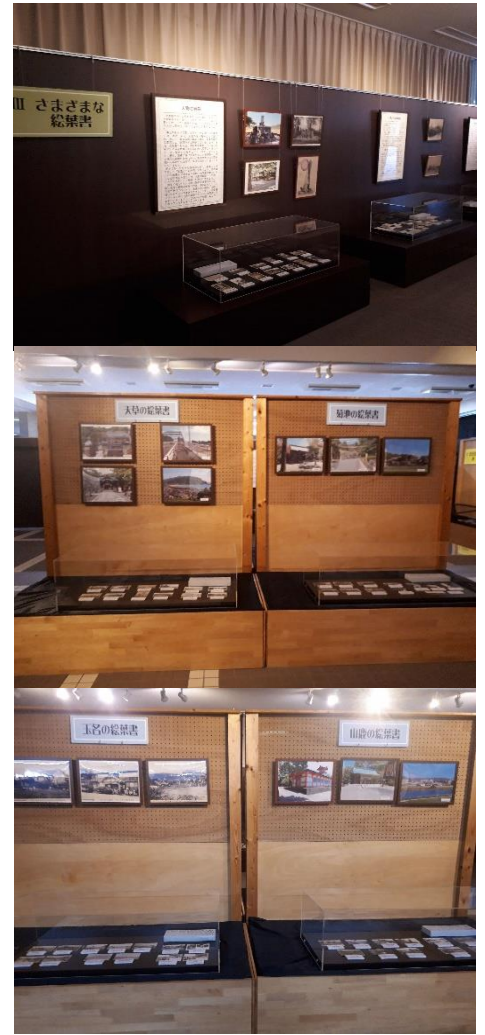
### 展示解説

会場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和5年(2023年)6月24日(土)

参加人数 2人

担当 後藤鮎子、堤将太



## ② よみがえる学校の標本たち ～熊本県内の理科室から～

開催期間 令和5年(2023年)8月1日(火)～10月1日(日)

観覧者数 1290人

展示点数 250点

担当 竹原千晶、高田聖也、免田隆大、廣田志乃、前田哲弥、中蘭洋行

### (展示趣旨)

学校の理科室には様々な標本が保管されている。かつてこれらの標本は、児童・生徒が見たことのない生物や岩石等に触れる貴重な機会を提供していたが、年々利用機会が減少している。しかし、それらの自然史標本としての価値は損なわれておらず、中には博物館施設に譲られ、整理・保管され、社会教育活動に活用されるなど、博物館資料としてよみがえったものもある。

本展示では、熊本県博物館ネットワークセンターが県内各地の学校から譲り受け、博物館資料として再び活用されている標本等を紹介し、標本が持つ、学校教育において標本が果たしている役割、現在の自然を標本として記録していくことの大切さ、標本を未来に伝える意味とそれを担う博物館施設の意義を伝えることを目的とした。



## (展示構成と主な展示資料)

### (ア) 理科室の標本

展示趣旨の説明

### (イ) みんなでつくった

野外活動などで児童や生徒が作成した標本の紹介

#### (主な展示資料)

キュウシュウゴマガイ、ウミトラノオ、クヌギの化石などの標本

### (ウ) みんなのために作られた

学校の先生などが児童や生徒のために作成した標本の紹介

#### (主な展示資料)

ウズラ、ドリアン、饅頭石などの標本

### (エ) 教材をつくる会社

教材の制作や販売を行う会社から購入した標本の紹介

#### (主な展示資料)

トキ、アイ、めのうなどの標本

### (オ) 聖駕奉迎熊本動、植、鉱物採集動員

昭和6年1月に行われた昭和天皇の熊本行幸に伴い作成された標本

#### (主な展示資料)

木倉小学校寄託資料などの標本

### (カ) 理科室から博物館まで

標本が寄贈先から受け入れられるまでの流れを紹介

#### (主な展示資料)

イタチ、センブリなどの標本・写真

### (キ) よみがえった標本たちのこれから

学校から寄贈された標本を整理し研究に活用した例を紹介

#### (主な展示資料)

宇城市松橋町岡岳山麓で採集した貝化石などの標本・資料

### (ク) 博物館となかよくなろう

博物館ネットワークセンターが行っている標本の貸し出しや講師派遣等の業務の紹介

#### (主な展示資料)

学校移動展示用パッケージ「熊本のさまざまな石」

## 関連企画

### 展示解説／バックヤードツアー

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室／収蔵棟

開催期日 令和5年(2023年)8月20日(日)

参加人数 7人

担 当 竹原千晶、高田聖也、免田隆大、廣田志乃、前田哲弥、中藺洋行、安田晶子

### ③ バックヤードに眠る 日本の鉱物

開催期間 令和5年(2023年)10月11日(水)～12月10日(日)

協力 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

観覧者数 1116人

展示点数 227点

担当 高田聖也、廣田志乃

#### (展示趣旨)

熊本県博物館ネットワークセンターには、熊本大学を中心として高等学校、個人などから寄贈された多くの鉱物標本がある。その数は5800点以上で、戦前に購入したり採集されたりした鉱物標本が世界中から集まっている。そのうち、2600点以上は日本産の鉱物標本であり、その種類から日本の地質や地下の構造運動が見えてくる。また、かつて採掘していた鉱山で採集された標本も多く収蔵しており、標本から日本の地下に眠る資源が見えてくる。

この企画展では、熊本県産のものを中心に九州各県産の鉱物を県別に展示し、その地質的背景を解説した。九州以外の場所でもれた鉱物は、それらの鉱物ができた環境をもとに分類して展示した。その他、国石や都道府県の石(当センターで所蔵しているもの:32都道府県)、日本で発見された鉱物なども展示した。

#### (展示構成と主な展示資料)

##### (ア) 岩石と鉱物

一般的な岩石をつくる鉱物を造岩鉱物という。ここでは主な造岩鉱物を紹介した。

##### (主な展示資料)

石英、カリ長石、普通輝石、普通角閃石、黒雲母、カンラン石など

##### (イ) 国石と県の石(鉱物)

全国47都道府県の県の石(鉱物)と、日本の石(国石)の選定事業の紹介をした。

##### (主な展示資料)

ひすい(国石)

##### (ウ) 熊本県産鉱物

熊本県で採れる鉱物とその地質的背景を紹介した。さらに、かつて熊本県内で採掘していた鉱山とその産出物を紹介した。

##### (主な展示資料)

鱗珪石、コランダム、キースラーガー、リモナイト、自然硫黄、柘榴石、藍鉄鉱、電気石など

##### (エ) 九州産鉱物

九州各県で採れる鉱物とその地質的背景を紹介した。

##### (主な展示資料)

リチア雲母、緑柱石、日本式双晶水晶、斧石、ダンブリ石、金鉱石、リン鉱石など

##### (オ) 九州以外の日本産鉱物

当センターが所蔵する24都道府県の県の石を展示した。また、地質的背景の解説とともに国内有名鉱山産鉱物や有名産地産鉱物を展示した。

##### (主な展示資料)

トパーズ、コハク、苗木石、黒鉱、孔雀石、藍銅鉱、重晶石、黄銅鉱、黄鉄鉱、錫石、輝安鉱など





#### (カ) 日本で命名された鉱物

日本で発見され名前が付けられた鉱物について、当センター所蔵の標本を展示した。

##### (主な展示資料)

種山石、芋子石、人形石、手稲石、神津閃石など

#### (キ) Krantz 鉱物中の日本産鉱物

熊本大学工学部の前身である熊本高等工業学校がドイツの標本商クラantz商会から購入した標本の中にある日本産鉱物・岩石標本を展示した。

##### (主な展示資料)

磁鉄鉱、トパーズなど

### 関連企画

#### 展示解説会

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター展示室および学習ルーム

開催期日 令和5年(2023年)10月21日(土)

参加人数 14人

担 当 高田聖也、廣田志乃

#### ④ ちょっと昔のくらし探検

開催期間 令和5年(2023年)12月19日(火)～令和6年(2024年)2月18日(日)

後 援 熊本県教育委員会、宇城市教育委員会

観覧者数 694人

展示点数 181点

担 当 國本信夫、樋口和紀、迫田久美子

#### (展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけての高度経済成長の下、社会はこれまでにないスピードで変化した。人々の生活も、様々な場面で機械や電化製品が使用されるようになり、生活のあり方や感覚も変化していった。かつては普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の单元に対応した道具を中心に紹介し、道具をとおして暮らしの変化を実感し、変化の意味を考える機会とすることを目指した。



#### (展示構成と主な展示資料)

##### (ア) 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも火をおこし、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

##### (主な展示資料)

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、鯉節削、石臼



### (イ) もっと明るく、もっと暖かく

オール電化の住宅では日常で炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

#### (主な展示資料)

燭台、行灯、提灯、火鉢、こたつ、湯たんぽ、電気行火



### (ウ) 洗濯と裁縫

今は水道の蛇口を開けば水が出るのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、たらいで洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

#### (主な展示資料)

井戸の滑車、洗濯板、電気洗濯機、炭火アイロン、



### (エ) お米ができるまで

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介。

#### (主な展示資料)

鍬、犁、田下駄、田植綱、雁爪、千歯抜き、足踏み脱穀機



### (オ) 年中行事とこども

年中行事のなかで子どもが主役となっていたもの、それらの行事の意味と子どもの役割や期待されていたこと、子ども集団と学びの社会システムに関して考察し、これからの子どもたちが地域社会とどう関わるかを考えるきっかけとなるような小テーマを設定し、年中行事の写真やウマツクリのわら馬(菊池市)等を展示した。



### (特記事項) 団体見学 2団体、出前講座4校

見学時には展示説明のほか、小学校の利用では、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、火熨斗によるアイロンがけなどを実施。

## ⑤ 熊本の干潟の生き物

開催期間 令和6年(2024年)2月27日(火)～5月12日(日)

共催 荒尾市

後援 熊本市教育委員会、宇城市教育委員会、荒尾市教育委員会

協力 荒尾干潟水鳥・湿地センター、日本野鳥の会熊本県支部、  
ひのくにベントス研究所、荒尾漁業協同組合、松浦弘氏

観覧者数 728人

展示種数 148種

担当 免田隆大、中菌洋行



### (展示趣旨)

干潟は、熊本県に住む私たちにとって身近な環境であるが、その特異さや複雑さはあまり知られていない。干潟には、ムツゴロウやシオマネキなどをはじめとする豊かな生き物たちが暮らしており、それらを餌とするシギやチドリなどの渡り鳥が、渡り途中の休憩場所や越冬場所として利用する。本展示では、このような特別な環境である干潟に生きる生き物について、その特徴を解説するとともに、豊かな生態系を実感してもらうことを通して、熊本県の自然を守る心を育てることを目的とした。

### (展示構成と主な展示資料)

#### (ア) 干潟とは ～その特異な環境～

干潟とはどのような環境なのか、環境写真とともに紹介。

#### (イ) 干潟の貝類 ～干潟で見られる軟体動物の仲間～

熊本の干潟で見られる貝類や腕足類の仲間を紹介。

##### (主な展示資料)

アサリ、ハマグリ、ハボウキガイ、シイノミミミガイ、ウミマイマイ、ウミニナ、ツメタガイ、アズキカワザンショウ、オオシャミセンガイなどの標本および写真。64種。

#### (ウ) 干潟に潜む生き物 ～ゴカイやイソメの仲間たち～

熊本の干潟で見られるゴカイ類を紹介。

##### (主な展示資料)

ツバサゴカイ、ミナミエラコなどの標本(荒尾干潟水鳥・湿地センター所蔵)。6種。

#### (エ) 干潟の魚類 ～干潟を這い回る変わり者たち～

熊本の干潟で見られる魚類を紹介。

##### (主な展示資料)

ムツゴロウ、トビハゼ、アリアケシラウオ、ガンテンイシヨウジなどの標本。15種。

#### (オ) 干潟を訪れる鳥 ～長距離を渡る小さな鳥たち～

渡りの途中で干潟を訪れる鳥類の仲間(シギ・チドリ類)を紹介。

##### (主な展示資料)

ダイシャクシギ、ミヤコドリ、ダイゼン、ムナグロなどの標本。10種。

#### (カ) 干潟で見られる鳥類関連展示

##### ・鳥類標識調査 ～その鳥はどこから来たのか～

鳥類の渡りを調べる方法(バンディング)について紹介。

##### ・シギ・チドリの渡りルート

有明海を経由するシギ・チドリ類の渡りの経路を解説。

##### ・干潟の鳥と食べもの ～特徴的なくちばし～

干潟を訪れる鳥類の食性と嘴の形状について解説。

・鳥類写真展示（日本野鳥の会熊本県支部提供）

干潟を訪れる鳥類の写真を展示。

（主な展示資料）

ミサゴ、セグロカモメ、ユリカモメ、クロツラヘラサギ、スズガモ、ツクシガモなどの標本。28種。シロチドリ、トウネン、ミユビシギなどの写真。8点。

（キ）干潟のエビ・カニ類 ～穴の中に住む甲殻類の仲間～

熊本の干潟で見られる甲殻類の仲間を紹介。

（主な展示資料）

アナジャコ、ハクセンシオマネキ、ヨシエビ、ヒシガニ、アシハラガニなどの標本。21種。

（ク）干潟の生き物を調べる ～巣穴の標本作製法～

干潟に生息する生き物の調査方法の一つである、巣穴の樹脂標本作製について紹介。

（主な展示資料）

アナジャコ、ハクセンシオマネキ（オス）の巣穴標本。3点。

（ケ）熊本の干潟を知ろう

熊本県内の重要湿地、干潟について学べる施設や関連団体について紹介。

（コ）干潟と生き物たちの暮らし ～いのち息づくふるさとの干潟～

干潟の現状や私たちの暮らしとの関係について解説。

（主な展示資料）

スサビノリ標本。1点。

（サ）干潟に出てみよう！

干潟に行くときの時間帯や携行品、注意点や心掛けることなどを解説。

（主な展示資料）

干潟の生き物観察用シート（ひのくにベントス研究所提供）。9点。



## 関連企画

### (1) 展示解説

会場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和6年（2024年）3月10日（日）

参加人数 4人

担当 免田隆大、中菌洋行

### (2) 春の渡り鳥観察会

会場 荒尾干潟（蔵満海岸）

開催期日 令和6年（2024年）4月27日（土）

参加人数 1人

講師 祝原光雄氏（荒尾干潟保全・賢明利活用協議会）

担当 免田隆大、中菌洋行

## (2) 通路展示

### 熊本にも縁があった 牧野富太郎

開催期間 (植物標本) 令和5年(2023年)4月11日(火)～令和5年(2023年)11月5日(日)  
(書簡) 令和5年(2023年)8月1日(火)～令和5年(2023年)11月5日(日)

展示点数 植物標本のべ26点、書簡5点

展示概要 日本各地の植物の研究者や愛好家と交流を持ち、日本における植物学の発展に大きく寄与したと言われている牧野富太郎ゆかりの植物標本や、当センターに収蔵されている牧野富太郎から前原勘次郎に宛てた書簡を展示。

担 当 竹原千晶、前田哲弥、堤将太、安田晶子



## (3) 移動展示

### ① 海辺の植物

会 場 荒尾市 荒尾干潟水鳥・湿地センター

開催期間 令和5年(2023年)7月13日(木)～令和5年(2023年)8月31日(木)

展示点数 パネル10点

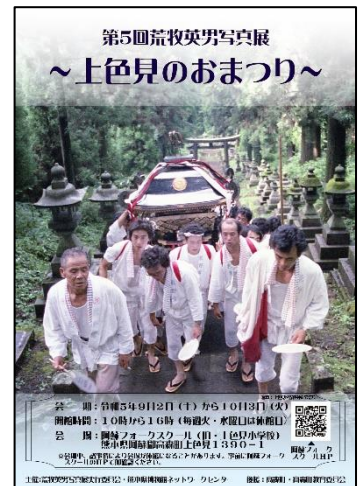
展示概要 陸上植物にとって厳しい環境である海岸域を生き抜く海岸性の植物の形態や機能、生き方をパネルで展示。

担 当 竹原千晶、前田哲弥、安田晶子



② 第5回荒牧英男写真展 上色見のおまつり

会 場 阿蘇フォークスクール  
 開催期間 令和5年(2023年)9月2日(土)～10月3日(火)  
 共 催 荒牧英男写真展実行委員会  
 後 援 高森町、高森町教育委員会  
 展示点数 44点  
 展示概要 高森町上色見で写真を撮り続けた故荒牧英男氏が撮影した衣すぎや上色見熊野座神社夏祭り、地搦唄等の写真を展示し、当時の上色見の人々の祭りや芸能の様子を紹介した。  
 担 当 國本信夫、樋口和紀、迫田久美子



③ 甲斐有雄展

会 場 南阿蘇ビジターセンター 多目的ホール  
 開催期間 令和5年(2023年)10月1日(日)～10月29日(日)  
 展示解説 令和5年(2023年)10月22日(日)  
 展示点数 16点  
 展示概要 現在の阿蘇郡高森町出身の甲斐有雄について、石道標の建設や西南戦争従軍を中心に資料画像やパネルで紹介。  
 担 当 後藤鮎子、古澤廣大、堤将太



④ **ちょっと昔の暮らし探検 はこぶ道具、はかる道具たち**

会 場 長洲町 金魚の館

開催期間 令和6年(2024年)1月6日(土)~1月28日(日)

後 援 長洲町

展示点数 34点

展示概要 小学校3・4年の社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」に対応して、子ども達に商業活動とも関わりが深いはこぶ道具とはかる道具を展示することにより、現在ではあまり身近でないかつての運搬や計測の方法について紹介した。

担 当 國本信夫、樋口和紀、迫田久美子



**(4) 県市連携展示「熊本のいきものたち」**

「熊本県博物館ネットワークセンター」67万点のコレクションの中から、生物分類ごとに選定された実物標本を用いて、熊本の自然環境と生物の多様性、生態系の豊かさを知る展示を行う。さまざまな生物の実物標本をできるだけ多く展示することで、実物に接する大切さを伝え、標本を見て観察することを通して、自然科学への興味の扉を開くきっかけとする。また、自然探究への興味・関心を高め、フィールドへと誘うことを目指す。

① **展示場所及び面積**

展示場所：熊本博物館 2F 常設展示室

展示面積：286.75 m<sup>2</sup>

② **展示資料**

区 分	展示資料種数	展示資料例
動物	哺乳類	39種 カモシカ、スナメリ、ニホンモモンガ
	鳥類	57種 クロツラヘラサギ、ヤマドリ、ホオアカ
	爬虫類	16種 アカウミガメ、ニホンマムシ、ニホントカゲ
	両生類	16種 カシミサンショウウオ、トノサマガエル
	魚類	47種 アリアケギバチ、ムツゴロウ、ウツボ
	昆虫類	425種 オオルリシジミ、ダイコクコガネ、サツマゴキブリ
	貝類	246種 タイラギ、イシカワギセル、マツカサガイ
	その他	31種 ハクセンシオマネキ、クルマエビ、ヒゴキムラグモ
植物	維管束植物	63種 スダジイ、ツクシネコノメソウ、ハナシノブ
	菌類	15種 ツエタケ、キニガイグチ、タマアセタケ
	藻類	19種 オキチモズク、クロメ、マクサ、ムカデノリ
合計	974種	

○ 哺乳類



○ 魚類



○ 昆虫類



○ 貝類



○ 維管束植物・藻類



○ 菌類



③ 県民活動紹介コーナー

県民の自然に親しむ活動を紹介するコーナーを設置。県民全体で自然や文化に親しむきっかけとなるように、県民の博物館活動の成果等を展示している。

○ 日本野鳥の会熊本県支部 令和5年9月～



○ 熊本きのこ会 令和6年3月～





#### ④ フィールドへの誘いコーナー

##### 春の展示

展示期間：令和5年（2023年）3月27日～6月19日

テーマ：「小岱山 中・南部（玉名市・荒尾市）」

展示資料：フデリンドウ標本、シジュウカラ剥製、花こう岩など 9点

##### 夏の展示

展示期間：令和5年（2023年）6月19日～9月25日

テーマ：「五家荘で自然観察【二本杉峠～梅の木轟公園篇】（八代市泉町）」

展示資料：ヤハズアジサイ標本、ゴジュウカラ剥製、谷内川集落の川原の石など 11点

##### 秋の展示

展示期間：令和5年（2023年）9月25日～令和6年（2024年）1月9日

テーマ：「すずめ地獄～清流の森（阿蘇郡南小国町）」

展示資料：エゾミソハギ標本、タゴガエル標本、すずめ地獄の石など 6点

##### 冬の展示

展示期間：令和6年（2024年）1月9日～3月25日

テーマ：「白鶴浜海水浴場を散策しよう（天草市天草町高浜）」

展示資料：シナアブラギリ標本、キサゴ標本、天草陶石など 25点

## (5) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室

平成31年3月17日(日)、阿蘇火山博物館2階に開設。当センター所蔵の資料を用いて、阿蘇を中心に熊本の自然や文化についての展示を行う。

### ① 甲斐有雄の見た西南戦争

開催期間 令和4年(2022年)11月24日(木)～令和5年(2023年)6月21日(水)

展示点数 13点

展示概要 高森町出身で熊本県近代文化功労者である甲斐有雄は、西南戦争に政府軍の軍夫として従軍した体験を日記に記録している。西南戦争に対する有雄の軍夫としての視点を、明治十年日記や軍夫受払帳とともに紹介している。

担当 後藤鮎子、古澤広大、堤将太



### ② 熊本にも縁があった 牧野富太郎

開催期間 令和5年(2023年)6月22日(木)～令和6年(2024年)2月7日(水)

展示点数 植物標本のべ24点、書籍1点

展示概要 日本各地の植物の研究者や愛好家と交流を持ち、日本における植物学の発展に大きく寄与したと言われている牧野富太郎ゆかりの植物標本や図鑑を展示。

担当 竹原千晶、前田哲弥、安田晶子



### ③ 阿蘇の水辺の生き物

開催期間 令和6年(2024年)2月7日(水)～6月26日(水)

展示点数 121点

展示概要 阿蘇は、6本の1級河川の源と、多くの湧水地を有し、豊富な水を誇る。ここには、チクシブチサンショウウオやタガメなど、貴重な動物たちも生息している。当センターが所蔵している標本の中から阿蘇の淡水域に生息している多様な生き物たちを紹介した。

担当 免田隆大、中藪洋行



## 2 情報発信活動

### (1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

#### 事業目的

インターネット上で資料データやイベント情報等を提供し、参加館等における資料管理、調査研究、情報発信、県民の博物館活動への参加等を支援する。平成27年（2015年）10月より運用開始。

#### 参加館等

33館、8市町村（令和6年（2024年）3月31日現在）

#### URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト  
<https://kumamoto-museum.net/>



### (2) 熊本どこでもミュージアム

#### 事業目的

インターネット上で熊本の自然と文化の紹介、県内博物館等施設の紹介、実験・創作・観察方法などの紹介を視聴できるサイトを「熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト」内に作成し、コロナ禍において活動が制限される状況下でも、いつでも、どこでも博物館を身近に感じることができる機会を提供する。令和3年3月より運用開始。

#### 事業内容

「バーチャルミュージアム」、「ミュージアムをのぞいてみよう」、「できた！みつけた！」の3つの項目で構成。それぞれに県内博物館等各館が記事を投稿することができる。

##### ①バーチャルミュージアム

熊本県内ミュージアムが自然や文化の魅力について発信（登録記事 63件）

##### ②ミュージアムをのぞいてみよう

熊本県のミュージアムについて発信（登録記事 8件）

##### ③できた！みつけた！

自宅でする実験・創作の紹介や熊本県内のおすすめフィールドについて発信（登録記事 25件）



※登録記事数は、令和6年（2024年）3月31日現在。

#### URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト内「熊本どこでもミュージアム」  
<https://kumamoto-museum.net/kumadoko>



### (3) 出版物

#### ① 広報誌（熊本県博物館ネットワークセンターだより「熊本の自然と文化」）

(ア) 55号

発行日 令和5年(2023年)7月4日(火)

掲載内容

[イベント情報] 企画展、フィールドミュージアムへ飛びだそう!

[資料紹介] アイ *Persicaria tinctoria* (植物)

氏子調御達写 (歴史)

二枚貝の化石 (地学)

コトボシ (民俗)

ミドリシジミ *Neozephyrus japonicus* (動物)

(イ) 56号

発行日 令和5年(2023年)11月10日(水)

掲載内容

[イベント情報] 企画展、熊本キッズミュージアム in 人吉、フィールドミュージアムへ飛びだそう!

[資料紹介] カケス *Garrulus glandarius* (動物)

エビネ *Calanthe discolor* (植物)

布告写 (歴史)

自然硫黄 Sulphur (地学)

ウマウリ・ウマツクリのわら馬 (民俗)

(ウ) 57号

発行日 令和6年(2024年)3月26日(火)

掲載内容

[イベント情報] 企画展、熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト「熊本どこでもミュージアム」、博物館ネットワークセンターの学習支援活動、展示活動、

[資料紹介] 火吹竹 (民俗)

ムツゴロウ *Boleophthalmus pectinirostris* (動物)

ミクリ *Sparganium stoloniferum* (植物)

刀銭 (歴史)

市房山の石 (地学)



#### ② 熊本県博物館ネットワークセンター紀要 第4号

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

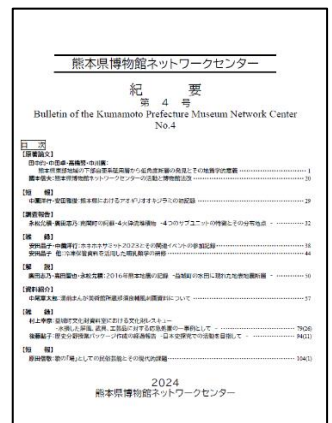
発行日 令和6年(2024年)3月7日

掲載内容 熊本県の自然、文化に対する研究の発表

【原著論文】

○田中均 他:熊本県東部地域の下部白亜系砥用層から低角度断層の発見とその地質学的意義

○國本信夫:熊本県博物館ネットワークセンターの活動と博物館法改正



【短報】

○中藪洋行 他：熊本県におけるアオギリオオキジラミの初記録

○原田信敬：歌の「場」としての民俗芸能とその現代的課題

【調査報告】

○永松允積 他：南関町の阿蘇-4 火砕流堆積物

—4つのサブユニットの特徴とその分布地点—

【雑録】

○安田晶子 他：ホネホネサミット2023とその関連イベントの参加記録

○安田晶子 他：冷凍保管資料を活用した哺乳類学の研修

○村上幸奈：益城町文化財資料室における文化財レスキュー —

—水損した屏風、武具、工芸品に対する応急処置の一事例として

○後藤鮎子：歴史分野授業パッケージ作成の経過報告

—日本史探究での活動を目指して—

【解説】

○廣田志乃 他：2016年熊本地震の記録

—益城町の水田に現れた地表地震断層—

【資料紹介】

○中尾章太郎：湯前まんが美術館所蔵那須良輔風刺画資料について

③ 熊本県博物館情報誌「Museくまもと」

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(7) vol.9

発行日 令和5年(2023年)9月25日(月)

掲載内容 [見どころ紹介] 山鹿市立博物館、坂本善三美術館、  
肥後の里山ギャラリー

[コレクション紹介] 天草コレジヨ館

[博物館のお仕事] お祭りでんでん館

(八代市民俗伝統芸能伝承館)

[博物館紹介] 温故創生館、山の中の海軍の町

にしきひみつ基地ミュージアム

(錦町立人吉海軍航空基地資料館)

[展示・イベント案内] 29館



(1) vol.10

発行日 令和6年(2024年)3月15日(金)

掲載内容 [見どころ紹介] 熊本市現代美術館、熊本博物館、  
玉名市立歴史博物館ころろピア

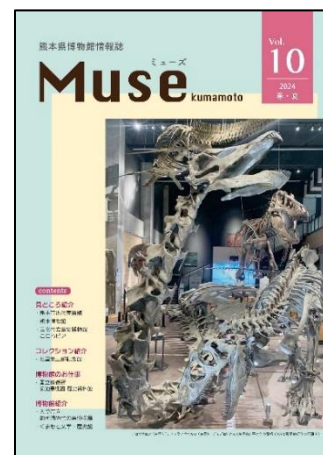
[コレクション紹介] 北里柴三郎記念館

[博物館のお仕事] 国立療養所菊池恵楓園歴史資料館

[博物館紹介] 天草市立御所浦恐竜の島博物館、

くまもと文学・歴史館

[展示・イベント案内] 25館



### 3 研修活動

#### (1) 総合プロデューサー育成研修

##### ① 目的

高い企画能力を持ち、効果的なプロモーション活動や広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

##### ② 研修会

###### ○第1回 「ひみつ基地ミュージアムができるまで ～『何もない』から出来たミュージアム～」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

期日 令和5年(2023年)6月16日(金)

場所 熊本大学五高記念館

参加者 28人

講師 錦町立人吉海軍航空基地資料館  
副館長 平本真子 氏

内容 地域資源を館の設立や運営、展示に活かす方法や、発想を形にしていく過程についての講話をとおして、県内博物館等施設が抱える課題の解決の一助とする。



###### ○第2回 「博物館と地域連携 - 高知城歴史博物館の取り組み -」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

期日 令和5年(2023年)12月5日(火)

場所 熊本県博物館ネットワークセンター学習ルーム  
及びオンライン

参加者 28人

講師 高知県立高知城歴史博物館  
館長 渡部淳 氏

内容 高知城歴史博物館が取り組んでいる、地域の歴史文化を守り伝えていくための先進的な地域連携活動の講話を通じて、県内博物館館長等が今後の博物館運営のあり方を改めて考える。



## (2) スキルアップ研修

### ① 目的

講座・実習をとおり資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとおり、県内博物館の運営力向上を図る。

### ② 研修会

#### ○第1回 「拓本に学ぶ」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

期日 令和5年(2023年)9月22日(金)

参加者 15人

講師 熊本県文化財保護審議会委員  
玉名市文化財保護審議会会長  
前川清一 氏

内容 拓本の特長やその価値についての紹介と、拓本の取り方についてワークショップを通して学ぶ。



#### ○第2回 「学芸員のための集客できるチラシのマーケティングとデザインの基本」

主催 熊本県博物館ネットワークセンター

期日 令和6年(2024年)1月12日(金)

場所 熊本県博物館ネットワークセンター  
学習ルーム

参加者 23人

講師 株式会社ノイエ 代表取締役  
熊谷淳一 氏

内容 広報物のデザインを専門的に学んだことがない職員が、ミュージアム等のチラシなどを作成する際に、効果があり集客力のあるチラシを作るため、来館者の心をつかむためのマーケティングに基づくコピーライティングと魅力的なデザインの基礎を学ぶ。



#### ○第3回 教育庁教育総務局文化課主催 令和5年度「熊本県文化財保護 行政担当者研修 「文化財の防災(入門編)～動産文化財の防災とレスキュー～」

主催 熊本県教育庁教育総務局文化課

期日 令和6年(2024年)2月22日(木)

場所 熊本県博物館ネットワークセンター  
学習ルーム

参加者 18人

講師 熊本県教育庁教育総務局文化課 学芸員  
村上幸奈 氏  
丸山大輝 氏

内容 文化財の防災についての基礎的な知識を学ぶとともに、実施可能な災害対策について意見交換を行う。



### (3) 教員のための博物館の日 in 御船

#### ① 目的

博物館等と学校との連携を図る必要があることから、教職員を対象とした研修会を通して、博物館活動に興味・関心や親近感を持ち、授業で活用できる学習資源として認識してもらう。

#### ② 研修会

主催 熊本県博物館ネットワークセンター、御船町恐竜博物館

共催 国立科学博物館 (公財) 日本博物館協会

後援 文部科学省、熊本県教育委員会、熊本県博物館連絡協議会

協力 天草市立御所浦白亜紀資料館、熊本県環境センター、熊本県立装飾古墳館、熊本県立美術館(本館)、熊本博物館、くまもと文学・歴史館、合志市歴史資料館、錦町立人吉海軍航空基地資料館(にしき ひみつ基地ミュージアム)、水俣病歴史考証館

期日 令和5年(2023年)8月2日(水)

場所 御船町恐竜博物館、御船町カルチャーセンター

参加者 62人

内容 ○講演

「学校教育における科学館・博物館の利用」

講師 日本ミュージアムマネージメント学会理事 高安礼士 氏

○御船町恐竜博物館の展示のポイント解説及び自由見学

○ワークショップ

- ①鑑賞ツール「アートカード」の遊び方と効果について(熊本県立美術館本館)、「わくわくドキドキ・おもしろ科学あそび」(合志市歴史資料館)、古代組紐づくり体験(熊本県立装飾古墳館)
- ②歴史体感型「飛行場地区フィールドワーク」(錦町立人吉海軍航空基地資料館)、「くまはくデジタルコンテンツ」のご紹介 Part.2~製作・体験、やってみよう!(熊本博物館)、「天草のお宝探検マップ 天草の石図鑑」を作ろう(天草市立御所浦白亜紀資料館)
- ③UVビーズストラップ作り(熊本県環境センター)、シルクスクリーンで水俣エコバッグづくり(水俣病歴史考証館)、創作キットで俳句を作ろう!(くまもと文学・歴史館)

参加者は①、②、③の中からそれぞれ1つを体験する。(事前申し込み)

時間	プログラム
9:30-10:00	受付(御船町カルチャーセンター)
10:00-10:05	開会式
10:05-11:35	講演「学校教育における科学館・博物館の利用」 講師 日本ミュージアムマネージメント学会理事 高安礼士 氏
11:35-12:20	御船町恐竜博物館のポイント解説及び自由見学(自由見学は随時参加可)
13:20-14:10	鑑賞ツール「アートカード」の遊び方と効果について(熊本県立美術館 本館) 古代組紐づくり体験(熊本県立装飾古墳館) わくわくドキドキ・おもしろ科学あそび(合志市歴史資料館) 天草のお宝探検マップ 天草の石図鑑(天草市立御所浦白亜紀資料館)
14:20-15:10	UVビーズストラップ作り(熊本県環境センター) シルクスクリーンで水俣エコバッグづくり(水俣病歴史考証館) 創作キットで俳句を作ろう!(くまもと文学・歴史館)
15:20-16:10	自由見学

主催：熊本県博物館ネットワークセンター、御船町恐竜博物館  
共催：国立科学博物館 (公財) 日本博物館協会  
協力：天草市立御所浦白亜紀資料館、熊本県環境センター、熊本県立装飾古墳館、熊本県立美術館(本館)、熊本博物館、くまもと文学・歴史館、合志市歴史資料館、錦町立人吉海軍航空基地資料館(にしき ひみつ基地ミュージアム)、水俣病歴史考証館  
後援：文部科学省、熊本県教育委員会、熊本県博物館連絡協議会



講演会



展示のポイント解説



移動展示パッケージコーナー





鑑賞ツール「アートカード」  
の遊び方と効果について



「わくわくドキドキ・おもしろ科学あそび」



古代組紐づくり体験



歴史体感型「飛行場地区  
フィールドワーク」



「くまはくデジタルコンテンツ」のご紹介 Part.2～製作・体験、やってみよう！



「天草のお宝探検マップ  
天草の石図鑑」を作ろう



UVビーズストラップ作り



シルクスクリーンで水俣エコ  
バッグづくり



創作キットで俳句を作ろう！

## 4 学習支援活動

### (1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

#### ① 拡大鏡で見てみよう

開催期日 令和5年(2023年)6月10日(土)  
場 所 益城町 秋津川河川公園  
参加人数 14人  
概 要 公園周辺に生育するさまざまな植物を拡大鏡で観察。  
担 当 竹原千晶、前田哲弥、安田晶子



#### ② 海辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和5年(2023年)7月3日(日)  
場 所 上天草市 宮津海遊公園  
参加人数 22人  
概 要 宮津海遊公園の干潟にて、貝類など海辺の生き物の観察。  
講 師 松本達也氏(オフィスまいまい)  
担 当 免田隆大、中藪洋行



#### ③ 川原の石ころ図鑑をつくろう

開催期日 令和5年(2023年)7月29日(土)  
場 所 氷川町 立神峡  
参加人数 16人  
概 要 川原の石を集めて観察し、種類を調べ、自分だけの石ころ図鑑を作った。  
講 師 田中均氏(元 熊本大学教授)  
担 当 高田聖也、廣田志乃



#### ④ 夏の星空を観察しよう

開催期日 令和5年(2023年)8月18日(金)  
場 所 熊本市南区城南町 熊本県民天文台  
参加人数 60人  
概 要 夏の大三角や天の川など、夏の星空の観察を行った。  
講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏  
(熊本県民天文台スタッフ)  
担 当 高田聖也、免田隆大、樋口和紀



### ⑤ 水辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和5年(2023年)9月23日(土)

場 所 八代市 ほたるの里公園

参加人数 17人

概 要 八代市ほたるの里公園にて、水生昆虫など、水辺の生き物の観察。

担 当 免田隆大、中藪洋行



### ⑥ 月の観察をしよう

開催期日 令和5年(2023年)9月29日(金)

場 所 熊本市南区城南町 熊本県民天文台

参加人数 55人

概 要 天体望遠鏡の映像をスクリーンに映し、月の観察や写真撮影を行った。

講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏  
(熊本県民天文台スタッフ)

担 当 高田聖也、廣田志乃



### ⑦ 植物体感ウォーク

開催期日 令和5年(2023年)10月7日(土)

場 所 和水町 肥後民家村

参加人数 11人

概 要 肥後民家村周辺に生育するさまざまな植物を五感を使って観察。

担 当 竹原千晶、前田哲弥、安田晶子



### ⑧ 海岸の砂から砂鉄を探そう

開催期日 令和5年(2023年)10月22日(日)

場 所 上天草市松島町 西目海水浴場

参加人数 24人

概 要 海水浴場周辺の地層や砂浜について学び、海岸の砂から砂鉄を集めて磁石を用いた実験をした。

講 師 田中均氏(元 熊本大学教授)

担 当 高田聖也、廣田志乃



### ⑨ 落ち葉図鑑を作ろう

開催期日 令和5年(2023年)12月3日(日)

場 所 上天草市 天草ビジターセンター

参加人数 22人

概 要 天草ビジターセンター周辺の樹木を観察し、集めた落ち葉を用いて図鑑を作成。

担 当 竹原千晶、前田哲弥、安田晶子



### ⑩ 水辺の冬鳥を観察しよう

開催期日 令和5年(2023年)12月23日(土)

場 所 熊本市 江津湖

参加人数 23人

概 要 熊本市江津湖にて、カモ類など水辺の冬鳥の観察。

担 当 免田隆大、中藪洋行



## (2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

### ① 氷川流域の植物講座

開催期日 令和5年(2023年)7月~11月

毎月第4土曜日

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター、ほか県内各地

受講人数 28人(計5回)

趣 旨 植物についての基本的な観察や記録の方法の講義や実習をとおして、氷川流域の自然に興味や親しみをもつきっかけを提供する。

内 容 講座「植物観察について」、  
実習「氷川上流域：白岩戸公園周辺の植物」、  
「氷川中流域：立神峡里地公園周辺の植物」、  
「氷川河口：浜牟田橋近辺の植物」、講座「まとめ」

担 当 竹原千晶、前田哲弥、安田晶子



## ② 地質学講座

開催期日 令和5年(2023年)7月～令和6年(2024年)1月  
奇数月第2日曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター、野外

受講人数 60人(計4回)

趣 旨 地球科学の最前線に関することを座学で、平成28年熊本地震と布田川・日奈久断層帯に関することを現地学習会で学ぶ。

内 容 第1回 7月9日

座学：九州の中央構造線の特異性 ～布田川断層・日奈久断層・臼杵一八代構造線～

巡検：阿蘇地域・益城町の熊本地震震災遺構と布田川断層

第2回 9月10日

座学：九州の中央構造線の特異性 ～布田川断層・日奈久断層・臼杵一八代構造線～

巡検：益城町・嘉島町の熊本地震震災遺構と布田川断層

第3回 11月12日

座学：プレートテクトニクスとプルームテクトニクス ～プルームテクトニクスと変動地形～

巡検：宇城市・甲佐町・御船町の日奈久断層

第4回 1月14日

座学：プレートテクトニクスとプルームテクトニクス ～プルームテクトニクスと変動地形～

巡検：芦北町・八代市・宇城市の日奈久断層

講 師 田中均氏(元熊本大学教授)

担 当 高田聖也、廣田志乃



## ③ 熊本の祭り・行事と芸能講座

開催期日 令和5年(2023年)6月～令和6年(2024年)3月  
毎月第3土曜日

会場 湯前町農村環境改善センター及び湯前中央公民館

主催 湯前町教育委員会・熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 65人(計10回)

趣 旨 熊本県内で行われてきた季節ごとの祭りや行事を紹介しながら、その意味や内容、熊本の暮らしや伝承文化について学ぶ。

内 容 第1回 6月17日 暦と祭り行事

第2回 7月15日 夏の祭りと行事

第3回 8月19日 熊本のお盆

第4回 9月16日 秋の祭りと行事1

第5回 10月21日 秋の祭りと行事2

第6回 11月18日 冬の祭りと行事

第7回 12月16日 熊本のお正月

第8回 1月20日 春の祭りと行事

第9回 2月17日 熊本の民俗芸能

第10回 3月16日 祭礼と人々

担 当 國本信夫、樋口和紀、迫田久美子



#### ④ 古文書読み解き講座

開催期日 令和5年(2023年)6月~10月

毎月第1土曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 54人(計5回)

趣 旨 当センターが所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。

使用資料 「銀臺遺事」

担 当 古澤広大、後藤鮎子



#### ⑤ 高森古文書入門講座

開催期日 令和5年(2023年)11月~令和6年(2024年)3月

毎月第3水曜日(3月は第2水曜日)

会場 高森総合センター

受講人数 38人(計5回)

趣 旨 博物館ネットワークセンター所蔵の阿蘇地域に関する資料を読み解きながら、古文書やくずし字の基礎知識を学ぶ。

使用資料 「高森町瀬井家資料」

「高森町安藤家資料」等

担 当 古澤広大、後藤鮎子



#### ⑥ 鳥類学講座

開催期日 令和5年(2023年)6月~令和6年(2024年)2月

偶数月第2土曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター、野外

受講人数 44人(計5回)

趣 旨 生態系において重要な役割を果たしている鳥類について、県内産の種類を中心に生態や同定について学ぶ。

内 容 6月10日 「総論 鳥とは」(熊本県博物館ネットワークセンター)

8月12日 「双眼鏡の使い方、熊本の鳥類」(熊本県博物館ネットワークセンター)

10月14日 「座学 鳥の渡り」(熊本県博物館ネットワークセンター)

12月9日 「水辺の冬鳥観察会」(立岡自然公園)

2月10日 「海辺の冬鳥観察会」(住吉自然公園)

講 師 坂梨仁彦氏(熊本県希少野生動植物検討委員)

担 当 免田隆大、中藺洋行



## ⑦ 標本づくり講座

開催期日 令和5年(2023年)9月～令和6年(2024年)2月  
 毎月第3日曜日(1月は第4日曜日)  
 会場 熊本県博物館ネットワークセンター  
 受講人数 83人(計6回)  
 趣 旨 動物、植物、岩石の標本づくりの基礎を学ぶ。  
 内 容 2023年 9月17日「はじめに・押し葉標本の作成」  
 10月15日「昆虫類の標本作成(展脚)」  
 11月19日「羽毛標本、哺乳類骨格標本の作成」  
 12月17日「押し葉標本の完成」  
 2024年 1月28日「化石標本に挑戦」  
 2月18日「火成岩と造岩鉱物の教材作成」  
 担 当 竹原千晶、高田聖也、免田隆大、廣田志乃、前田哲弥、中藪洋行、安田晶子



## (3) くまもとキッズミュージアム in 人吉

概 要 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けのプログラム  
 主催 熊本県博物館ネットワークセンター  
 後援 熊本県教育委員会、人吉市教育委員会、熊本県博物館連絡協議会  
 会場 人吉市カルチャーパレス  
 開催期日 令和6年(2024年)1月21日(日)  
 参加者数 174人(子どものみ集計)  
 協力館 熊本県環境センター、湯前マンガ美術館、那須良輔記念館、御所浦白亜紀資料館、熊本県立装飾古墳館、熊本博物館、合志市歴史資料館、くまもと文学・歴史館

(体験プログラム)

リ・ガラスアートをつくろう(①)、化石のレプリカをつくろう(②)、風刺マンガアートカードで遊ぼう(③)、あまくさのお宝探検マップをつくろう(④)、古代組紐づくり(⑤)、箱の中に虹をつくろう(⑥)、サイエンスショー&おもしろ科学あそび(⑦)、創作キットで俳句をつくろう(⑧)、葉っぱ模様のミニうちわを作ろう(⑨)



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

**特別展示 「熊本にも縁があった 牧野富太郎」**

展示点数 27点



**(4) 移動体験教室・講師派遣**

**① 移動体験教室**

4月15日	SAI松橋曲野教室 (化石のレプリカをつくろう)	12人
7月25日	中央小児童クラブ (化石のレプリカをつくろう)	35人
7月25日	中央小第二児童クラブ (葉脈標本でしおりをつくろう)	20人
8月1日	えのきっ子クラブ (化石のレプリカをつくろう)	36人
8月2日	豊福第一学童保育所 (葉脈標本でしおりをつくろう)	48人
8月2日	豊福第一学童保育所 (葉脈標本でしおりをつくろう)	44人
8月3日	南小国町社会福祉協議会 (古銭レプリカをつくろう)	22人
8月6日	南阿蘇村図書室 (化石のレプリカをつくろう)	20人
8月8日	松橋第二学童保育所 (葉脈標本でしおりをつくろう)	43人
8月8日	七滝中央学童保育 (化石のレプリカをつくろう)	40人
8月9日	キッズダイアリー松原 (化石のレプリカをつくろう)	10人
8月18日	河江学童保育所 (葉脈標本でしおりをつくろう)	36人
8月21日	Switch宇土 (貝殻クラフト)	10人
3月26日	SAI松橋曲野教室 (空飛ぶ種)	20人

延べ 396人

**② 講師派遣**

5月5日	装飾古墳館 (葉脈標本でしおりをつくろう)	60人
7月30日	農村の豊かさと福祉を学ぶふるさと自然塾 (身近で危険な生物についての講義)	9人
10月1日	島区地域保全会 (川の生き物調査)	36人
10月10日	熊本県立宇土中学校 (校内の樹木の観察)	70人
10月17日	宇城市公民館講座 (植物観察会)	15人
11月11日	歴史公園鞠智城・温故創生館 (植物観察会)	35人
11月24日	熊本県立宇土中学校 (動植物・地質実地研修)	70人
1月20日	上天草市立中北小学校 (昔の暮らし体験)	22人



1月30日	宇土市立宇土東小学校（昔の暮らし体験）	39人
2月15日	八代市立太田郷小学校（昔の暮らし体験）	103人
2月17日	熊本県生物部会実験実習グループ（土壌動物の採集と分類）	12人
2月19日	荒尾市立平井小学校（昔の暮らし体験）	31人
		延べ 502人

## (5) 団体利用

4月19日	熊本県立松橋東支援学校（展示解説）	9人
6月23日	山都町シニアクラブ（展示解説）	30人
7月24日	宇城教科等研究会中学校理科部会（展示解説・断層モデル作成・バックヤード見学）	21人
8月1日	放課後デイサービス きっずぴあ（草木染め体験）	12人
8月10日	Switch宇土（貝殻クラフト）	6人
9月26日	宇城市公民館講座（植物学講座）	16人
9月30日	宇城退職校長会（第1回地域探訪）	11人
10月25日	甲佐町立乙女小学校（民具見学、企画展見学）	11人
12月7日	県立教育センター（初任者研修（第13回））	5人
12月13日	宇城市立豊福小学校（博物館見学）	39人
2月16日	宇城市立豊福小学校（昔の暮らし体験・展示見学）	77人
2月17日	放課後等デイサービスLSJ（昔の暮らし体験・展示見学）	10人
2月22日	熊本県市町村文化財担当者連絡協議会（研修会）	13人
		延べ 260人

## (6) 博物館実習・職場体験

### 博物館実習

期 間 令和5年（2023年）9月7日（木）～15日（金）

※一部期間内に参加が困難だった学生については、振替日を設定し、実習を実施。

実 習 生 熊本大学 6人

実習内容 資料整理及び登録業務、解説シートの作成等

9月 7日 オリエンテーション、バックヤード見学

8日 資料整理・登録業務

11日 「甲佐民具の会」の資料整理補助（民俗分野）、資料整理・登録業務等

12日 資料写真撮影、展示企画案作成

13日 展示リスト及び展示パネル原稿等作成

14日 展示キャプション・パネル作成

15日 展示設営、展示解説、講評



## (7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、当センターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 令和5年(2023年)5月27日(土)

登録者数 80人(令和5年度末)

## (8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

### ① くまもとの大地の成り立ち

活動人数 38人

活動日 偶数月第1日曜日

活動内容 地層や岩石の現地見学会の実施



くまもとの大地の成り立ち

### ② 地学研究会

活動人数 8人

活動日 毎週金曜日

活動内容 寄贈された標本やそれに関連する地学資料の整理

### ③ 草木染めの会

活動人数 17人

活動日 毎月第2土曜日

活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践



草木染めの会

### ④ 松橋地域史調査クラブ

活動人数 4人

活動日 毎月第1土曜日

活動内容 宇城市が所蔵している秋岡家文書(秋岡吉左衛門覚書 其ノ三、秋岡吉左衛門・彦之丞覚書)の調査(読解)



⑤ 雁回山の植物を観る会

活動人数 16人

活動日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査、標本作成



雁回山の植物を観る会

⑥ 貝類調べ隊

活動人数 7人

活動日 毎月第3土曜日

活動内容 県内各地の陸・海・淡水の貝類を調査、観察を行う。  
必要に応じて採集し、名前を同定し、博物館ネットワークセンターへ情報提供を行う。



貝類調べ隊

⑦ シダを楽しもう会

活動人数 11人

活動日 毎月第2火曜日及び第4木曜日

活動内容 熊本県内のシダ植物の分布状況調査



シダを楽しもう会

⑧ 甲佐民具を学ぶ会

活動人数 5人

活動日 毎月第1月曜日

活動内容 甲佐町民俗資料館の民具資料のクリーニング及びメンテナンス  
甲佐町民俗資料館の民具資料の台帳作成  
甲佐町民俗資料館の展示の充実



甲佐民具を学ぶ会

## (9) 学校移動展示用パッケージ

### 事業目的

博物館ネットワークセンターにある実物資料を活用し、学校の教育課程と重ね合わせて作成した移動展示用パッケージを、各教育事務所や学校に配置し、授業やイベント等の展示に活用する。

### 小中学校

熊本市以外の各教育事務所及び山鹿市教育委員会に配置し、各学校への運用を依頼。

小学校は2種類、中学校は4種類、計6種類作成。

### 高等学校

生物分野を9校、地学分野を2校に配置し、運用を依頼。

生物分野は、日本のバイオームを5校に、外来生物を3校に配置。

地学分野は、3種類を1セットとして配置。

(令和6年(2024年)3月31日現在)



## (10) 図書館・公民館等移動展示用パッケージ

### 事業目的

図書館や公民館などの展示スペースが限られた施設においても小型の移動パッケージを活用し展示することで、博物館活動に対しての県民の興味・関心を高める。

### パッケージ内容

郷土玩具(民俗)、水辺の昆虫たち(動物)、郷土の偉人甲斐有雄さん(歴史)、熊本県で見られる化石~植物編~(地学)、熊本県で見られる化石~動物編~(地学)、源氏物語で見られる植物-ミクリ-(植物)、源氏物語で見られる植物-アマモ-(植物)、お買い物いまむかし(民俗)、暮らしに残る昔の単位(民俗)



## (11) 歴史分野授業パッケージ

### 事業目的

熊本県博物館ネットワークセンターが有する歴史資料や専門の知識を学校教育に活用することを目的とする。

### パッケージ内容

「古文書に書かれたモノとお金」

- (1) 江戸時代の古文書 (2) 江戸時代の貨幣
- (3) (1)の複写資料 (4) 指導案 (5) 授業ワークシート
- (6) 単位及びくずし字表 (7) 品目表
- (8) 博物館ネットワークセンター職員のチーム・ティーチング



## (12) リレー講演会

### 事業目的

一つのテーマについて、県内博物館の学芸員等による様々な観点からの講演会を実施し、県民に多くの視点を提供するとともに、博物館の活動に興味をもってもらう機会とする。

### 事業内容

令和5年度は「熊本の石と地質」をテーマとして、阿蘇の巨大噴火で生成された阿蘇溶結凝灰岩等の熊本の石と地質について（博物館ネットワークセンター）、さらに、古墳時代の石材を通じた交流を県内の装飾古墳の事例を（装飾古墳館）、伝熊本城の石垣等での石材利用について（熊本城調査研究センター）で連続した講演会を実施する。

### 概要

- 主催 熊本県博物館ネットワークセンター
- 名義後援 熊本県教育委員会、熊本市
- 会場及び開催期日 令和5年（2023年）11月11日（土） 熊本県立装飾古墳館  
12月2日（土）熊本県博物館ネットワークセンター
- 参加者数 令和6年（2024年）1月27日（土）桜の馬場 城彩苑 多目的交流室  
83人（3日間合計）
- 講演内容 「熊本の石と地質」  
熊本県博物館ネットワークセンター 廣田志乃  
「古墳時代の石材を通じた交流」  
熊本県立装飾古墳館 矢野裕介 学芸課長  
「熊本城の石材利用」  
熊本城調査研究センター 嘉村哲也 文化財保護主任主事

**参加費 無料**  
※要申込

### 「熊本の石と地質 ~人々と石の関係性~」

リレー講演会とは？  
1つのテーマについて、複数の県内の博物館職員が人文学、自然科学の様々な分野の視点から語る今回は、「熊本の石と地質」を主テーマとして

- ①熊本の石と地質（熊本県博物館ネットワークセンター）
- ②古墳時代の石材を通じた交流（熊本県立装飾古墳館）
- ③熊本城の石材利用（熊本城調査研究センター）

以上、3つの視点から、各博物館の職員が「熊本の石と地質」に関するテーマで講演を行います。また、会場を交互に移動しますので、お近くの会場で受講することができます。詳しい内容はチラシをご覧ください。

#### 日程及びスケジュール(各会場共通)

開催日	会場	時間	内容
令和5年(2023年) 11月11日(土)	装飾古墳館	13:30~14:10	【第1】熊本の石と地質(博物館ネットワークセンター)
		14:10~14:20	質疑応答・休憩
		14:20~15:00	【第2】古墳時代の石材を通じた交流(装飾古墳館)
令和5年(2023年) 12月2日(土)	博物館ネットワークセンター	15:00~15:10	質疑応答・休憩
		15:10~15:50	【第3】熊本城の石材利用(熊本城調査研究センター)
		15:50~16:00	質疑応答
令和6年(2024年) 1月27日(土)	桜の馬場 城彩苑	13:30~14:10	【第4】熊本の石と地質(熊本県博物館ネットワークセンター)

※1月27日(土) 桜の馬場城彩苑の講義室のみ、13:30~14:10の時間帯は、計7回開講の予定です。お申し込みの際はご注意ください。

お申し込み方法  
熊本県電子申請サービス(UR&L)の二次ユーザーもしくは、県庁申請窓口での申し込みください。  
申込期限 各会場定員になり次第締切  
URL [https://apple.kumog.jp/inf/kumamobu/obj/offerlist\\_detail.html?seq=12630](https://apple.kumog.jp/inf/kumamobu/obj/offerlist_detail.html?seq=12630)  
お問い合わせ先  
熊本県博物館ネットワークセンター TEL:0964-34-3301 / FAX:0964-34-3302  
メールアドレス: hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

主催: 熊本県博物館ネットワークセンター 名義後援: 熊本県教育委員会 熊本市

## 5 資料収集整理活動

### (1) 熊本県博物館資料データベース事業

#### 事業目的

熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。

#### 事業内容

収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用

#### 参加館等

21館、4市町村、資料登録件数は478,148件  
(令和6年(2024年)3月31日現在)

#### URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトからアクセス

<https://kumamoto-museum.net/> ([http://jmapps.ne.jp/kumamoto\\_museum/](http://jmapps.ne.jp/kumamoto_museum/))



### (2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

#### 事業目的

熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者や学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。

#### 事業内容

熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付

熊本県学芸員等人材データベース (web版) の作成及び公開 (平成27年10月)

#### 登録者数

158人 (令和6年(2024年)3月31日現在)

#### URL

熊本県学芸員等人材データベース (web版) 公開ページ

<https://kumamoto-museum.net/human>



### (3) 資料収集・整理状況 (令和5年度 (2023年度))

#### ① 動物分野

##### 資料収集点数及び登録点数

分類群	資料点数 (概数)	登録点数		計
		乾燥 (剥製等)	液浸	
NB11 (哺乳類)		276	130	406
NB12 (鳥類)		1,025	1	1,026
NB13 (両生・爬虫類)		85	328	413
NB14 (魚類)		87	2,111	2,198
NB15 (昆虫類)		12,093	417	12,510
NB16 (多足類)		21	890	911
NB17 (甲殻類)		45	948	993
NB18 (軟体動物)		6635	249	6,884
NB19 (その他分類群)		19	35	54
合計	91,700	20,286	5,109	25,395

#### 令和5年度の受入資料

アオバト	1点
コウベモグラ	2点
フクロウ (黒化個体)	1点
オヒキコウモリ	2点
カツオドリ	1点
クサガメ	1点
モリアブラコウモリ	2点
ユビナガコウモリ	2点
ヤマネ	1点
テン	1点
ニホンジネズミ	1点
ソリハシセイタカシギ	1点
ハマグリ	1点
松本芳文昆虫標本	427点
玉名高校所蔵剥製他	約250点
職員採集標本	約120点

#### 令和5年度の主な整理登録作業

- 乾燥昆虫標本作成及び登録
- 干潟の貝類・甲殻類標本作製及び登録
- 倉永善太郎昆虫標本の整理及び登録
- 立志徹郎貝類標本の整理及び登録
- フェイス女学院貝類標本の整理及び登録

## ②植物分野

### 収蔵資料点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数
NB2（植物）		4,235
NB3（菌類）		0
NB4（藻類）		74
合計	280,000	4,309

### 令和5年度受入資料

職員採取資料 約3,000点

ミュージアムパートナーズクラブ採取標本 約100点

### 令和5年度の主な整理登録作業

職員採集標本の作成

熊本大学標本、第一高校標本、第二高校生物部標本、フェイス女学院生物部標本、熊本農業高校生物部標本、荒尾弘標本、山城学標本、吉田標本、ミュージアムパートナーズクラブ標本の同定、調査、清掃、修理等の登録準備作業

上記標本の登録、配架作業

## ③地質分野

### 資料収蔵点数

コレクション名	資料点数（概数）	登録点数
今西茂標本	2,600	2,496
長谷義隆標本	10,000	568
アトラスくまもと標本	174	174
荒尾宏岩石標本	103	103
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,833	4,833
河野通幸化石標本	217	217
岩崎泰穎標本	6,500	2,262
津末昭生標本	4,300	0
熊本大学工学部標本	7,026	7,026
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,040	5,040
熊本大学理学部地学科標本	105	105
村田正文標本	1,100	7
遠藤誠道植物化石標本	600	2
斉藤林次標本	213	213
早田幸作標本	200	14
千藤忠昌標本	1,846	1,846
植田和男標本	103	103
フェイス女学院 松本唯一標本	234	234
桂輝雄標本	220	217
田中均標本	8,000	525
多良木高校標本	371	371
永松允積火山灰標本	90	0
村上能治標本	200	0
田中基義標本	800	195
ミュージアムパートナーズクラブ採取標本	370	266
その他（少数寄贈、職員製作など）	1,400	1,204
合計	56,645	28,021



## 令和5年度受入資料

個人寄贈・職員採取標本 100点

## 令和5年度の主な整理登録作業

田中均標本の整理・登録

今西茂標本の整理・登録

田中基義標本の整理・登録

ミュージアムパートナーズクラブ・個人寄贈・職員採取標本の整理・登録

展示など使用標本の登録

## ④歴史分野

### 収蔵資料点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	2,378
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	520	520
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	560	560
松本達也寄贈資料	66	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清士寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,676	2,676
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	16
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	40	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証書類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2
岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5

松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
熊本私立測量学校関係資料	133	133
宇城市本田家資料	192	0
熊本市小夏家資料	494	0
東矢力也寄贈資料	73	73
熊本市河原家資料	3	3
宇城市岡村家資料	1	1
辻あきこ寄贈資料	62	62
宇城市小田家資料	1,300	1,003
江藤政光所蔵資料	16	16
本田力寄贈資料	1	1
上塚穰二寄贈資料	7	7
宇城市森田家資料	47	47
市丸かな子寄贈資料	26	0
宇城市小崎家資料	441	0
熊本市木下家資料	108	0
土原忠信寄贈資料	3	3
村上孝男寄贈資料	1	1
下川寿幸寄贈資料	7	0
中野敬輔寄贈資料	127	0
北川直子寄贈資料	5	0
佐藤美知男寄贈資料	18	0
その他（購入等）	23	22
合計	43,128	12,166

#### 令和5年度受入資料

- 市丸かな子寄贈資料（追加）9点
- 熊本市木下家資料（追加）16点
- 北川直子寄贈資料5点
- 佐藤美知男寄贈資料18点

#### 令和5年度の主な整理登録作業

- 熊本市辛島家資料、宇城市小田家資料の整理・登録
- 熊本市米村家資料の整理

#### ⑤民俗分野

資料収蔵点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数(概数)	登録点数
衣食住	衣	1000	436
	食	1030	732
	住	410	314
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	130
	採鉱・冶金	11	10
	漁撈・製塩	160	188
	狩猟	10	10
	養蚕・畜産	200	194
	繊維	100	86
	諸職・手工芸	420	393
交通交易	交通	230	166
	交易	160	88

社会	社会	50	39
信仰	神社	30	10
	寺院	50	44
	民間信仰	30	26
民俗知識	教育	230	134
	医療	80	34
	暦	15	9
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	10	0
	娯楽	410	150
儀礼	年中行事	57	57
	人生儀礼	100	40
小計		5,638	3,988
写真資料		154,400	80,912
合計		160,038	84,900

### 令和5年度受入資料

個人寄贈生活用品等約 60 点  
原賀隆一原画色紙等約 200 点

### 令和5年度の主な整理登録作業

寺本家資料、中野家資料、山本家資料、白石巖写真資料

## 6 資料

### (1) 令和5年度（2023年度）職員一覧

所長	松永 築	
参事	國本 信夫	(民俗)
参事	竹原 千晶	(植物)
参事	後藤 鮎子	(歴史)
参事	高田 聖也	(地質)
主任主事	免田 隆大	(動物)
主事	樋口 和紀	(民俗)
博物館活動嘱託	迫田久美子	(民俗)
博物館活動嘱託	前田 哲弥	(植物)
博物館活動嘱託	廣田 志乃	(地質)
博物館活動嘱託	中藺 洋行	(動物)
博物館活動嘱託	古澤 広大	(歴史)
資料整理嘱託	安田 晶子	(植物)
資料整理嘱託	堤 将太	(歴史)

## (2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

### ○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成 27 年 3 月 20 日条例第 10 号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第 1 条 県内の他の博物館等（博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。）との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター（以下「ネットワークセンター」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第 3 条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前 2 号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室（以下「多目的広場等」という。）を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条に規定する目的を達成するために必要な業務

(職員)

第 4 条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第 5 条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条の規定により休日とされる日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日）
  - (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで（前号に該当する日を除く。）
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第 6 条 ネットワークセンターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 7 条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第 8 条 知事は、前条第 1 項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

- (3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。
- (4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第9条 知事は、第7条第1項の許可を受けた者（次条第1項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第7条第1項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第7条第2項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前条第3号に該当することとなったとき。

（使用料）

第10条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

- 2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。
- 3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第11条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。（指定管理者による管理）

第12条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第15条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

- 2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。
- 3 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第7条から9条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。
- 4 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第7条第1項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。
- 5 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第7条第1項（第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

第13条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条第5号に掲げる業務
- (2) 第7条第1項の許可に関する業務
- (3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務

（利用料金）

第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

- 2 利用料金の額は、別表に定める額に 1.3 を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。
- 3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

(原状回復義務)

第 15 条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第 244 条の 2 第 11 項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

(損害賠償)

第 16 条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

(雑則)

第 17 条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第 18 条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の 5 倍に相当する金額（当該 5 倍に相当する金額が 5 万円を超えないときは、5 万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条第 5 号、第 7 条から第 15 条まで、第 18 条及び別表の規定は、平成 27 年 10 月 1 日から施行する。

別表(第 10 条、第 14 条関係)

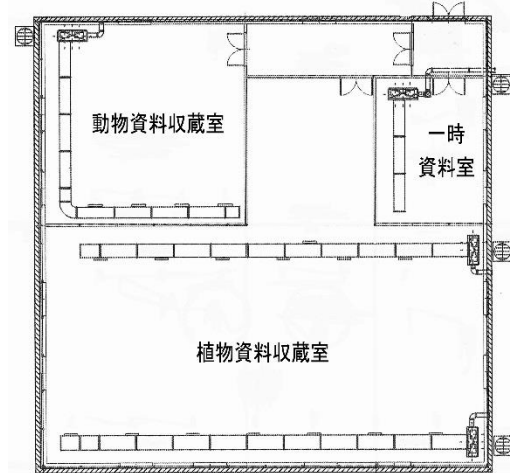
区分	単位	金額
多目的広場	東面	1 時間につき 700 円
	西面	1 時間につき 800 円
多目的広場管理棟会議室	1 時間につき	100 円

備考 使用する時間に 1 時間未満の端数があるときは、その端数を 1 時間とみなす。

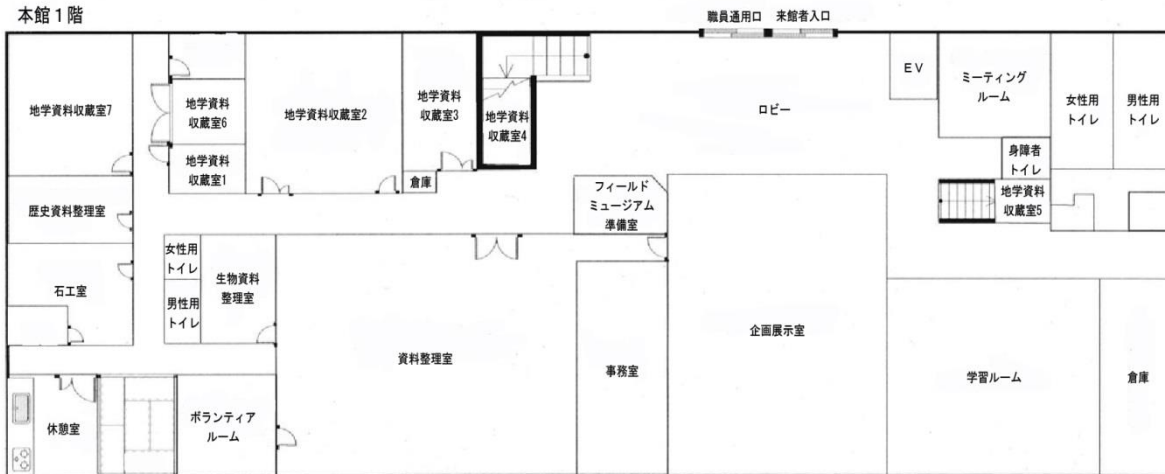
### (3) 施設平面図

敷地概要	所在	宇城市松橋町豊福 1695
	面積	61,917.40 m <sup>2</sup>
建物概要	本館	構造 RC造2階建
	建築面積	1643.30 m <sup>2</sup>
	延床面積	2889.27 m <sup>2</sup>
	収蔵棟	構造 RC造平屋建
	建築面積	493.63 m <sup>2</sup>
	延床面積	480.26 m <sup>2</sup>

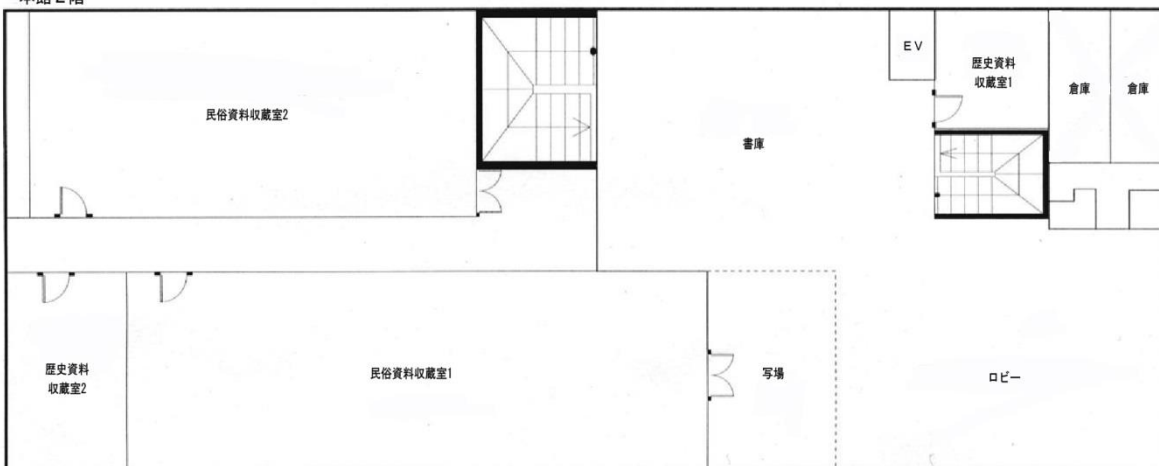
収蔵棟



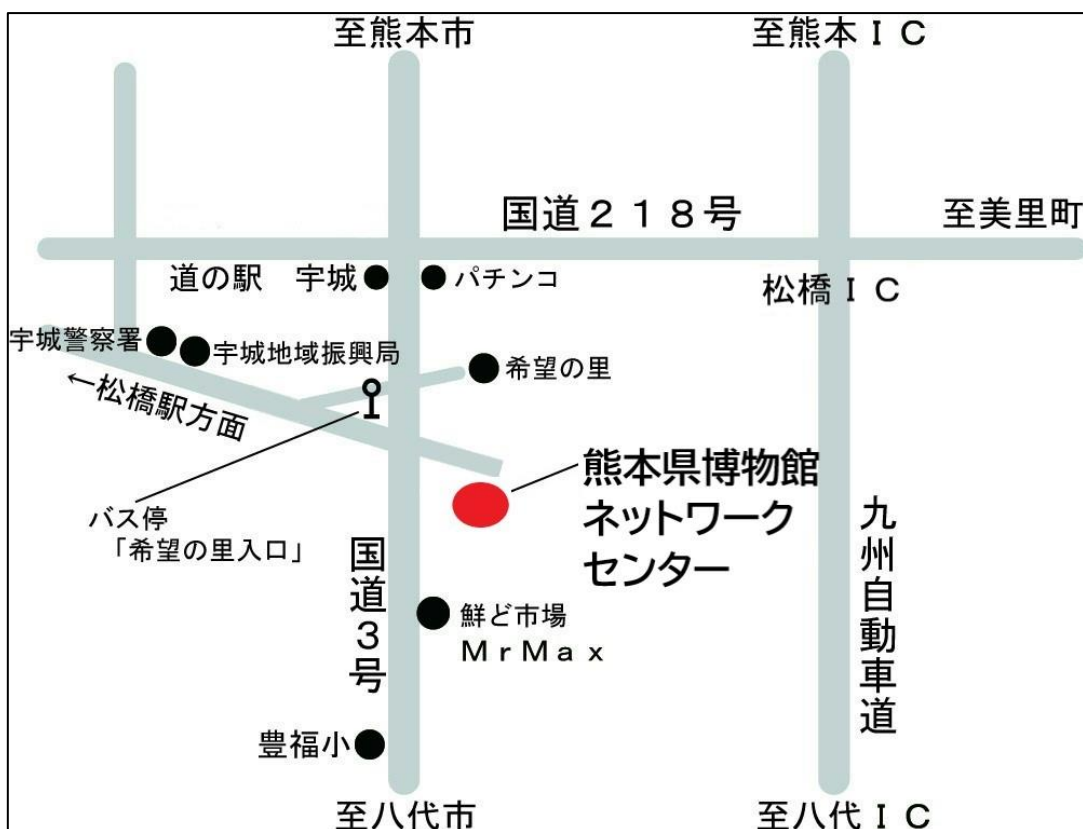
本館1階



本館2階



#### (4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス



開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月29日～1月3日)

交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分

JR松橋駅より約3km

URL <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

E-mail [hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp](mailto:hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp)

---

令和5年度(2023年度)熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター

(ISIL:JP-2004104)

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福1695

電話 0964-34-3301

発行日 令和6年(2024年)7月18日

---





発 行 者 熊本県  
所 属 熊本県博物館ネットワークセンター  
ISIL 番号 JP-2004104  
発行年度 令和6年度（2024年度）